

令和元年度第3回番組審議会議事録

宇和島ケーブルテレビ株式会社

日時：令和元年11月16日（土） 10：00～11：20

場所：本社2階会議室（宇和島市丸之内5丁目4番7号）

審議員：審議委員総数 7名

出席委員 5名

・出席者

委員	本田	耕一	会長
	山内	幸子	副会長
	大久保	幸裕	委員
	石崎	美和	委員
	宮本	美樹	委員
UCAT	新津	昌雄	代表取締役社長
	伊藤	克将	取締役総局長
	田中	多紀	編成制作部制作課長
	和田	直久	編成制作部制作課ラジオチーム主任
	光岡	良樹	番組審議会事務局

1. 開会
2. あいさつ 宇和島ケーブルテレビ株式会社 代表取締役社長 新津 昌雄
3. 第1号議案 宇和島市市政広報番組の放送について
4. 第2号議案 IP-VODサービスみるプラスについて
5. 第3号議案 ミュージックバードの生放送番組について
6. その他
7. 閉会

質問（ご意見）・回答

■宇和島市市政広報番組の放送について

現在、月2回市の広報番組を放送しているがそれについて意見や、今後取り上げる題材について聞きたい。(田中)

- 商工観光課の番組は分かりやすく見ていて良かった。放送時間もちょうどよかった。テロップについてもあったほうがいいです。(石崎)
- 言葉や言い回しは気にならず穏やかに見ることができた。子育て支援の番組などはみていてよかったと思う。(山内)
- 事前に放送時間やテーマの告知があればいい。ニュースが終わった空いている時間に画面で告知をしてみてもどうか。(大久保)
 - ・電子番組表でもっと工夫をしてみる。(田中)
 - ・番組間の時間で流しているお天気カメラの時間で工夫して告知を考えてみる。(伊藤)
- 番組の内容が偏っている。市から市民へもっと告知をするということで、広報番組をもっといろんな課で制作して広めてほしい。(本田)

■IP-VODサービスみるプラスについて

12月1日からみるプラスを導入するにあたって、UCATの番組も後から視聴できるようになる。配信についてニュースやスペシャル放送の配信期間はどのくらいがいいか？(伊藤)

- 1ヶ月程度がいいのでは。(本田)
- 鬼北はニュースの更新が少なく、見逃す場合があるので半月ほどあればいい。スペシャル放送は時間を調べて録画している人が多いと思う。(宮本)

配信番組を見るためにはインターネット環境が必要になってくる。(伊藤)

- UCATの配信をみるための金額の負担については？(大久保)
 - ・みるプラスを契約すればUCATを見るための追加料金はありません。(伊藤)
- 見るための操作方法は難しいのか？(石崎)
 - ・リモコンのボタン操作で簡単に視聴可能。
- チューナーの交換は必要か？(山内)
 - ・対応しているチューナーを取り付ける必要がある。(伊藤)

新しいものを取り入れて、時代にあったものを作っていきたい。(伊藤)

- 配信番組は録画できるか？(本田)
 - ・録画はできない。(伊藤)

■ミュージックバードの生放送番組について

現在、日中は市民パーソナリティの放送が流れ、夜間にミュージックバードの放送が流れている。全国的な番組もあるので日中も配信していくかどうか。(和田)

今後は、全国的な番組を取り入れて配信していきたい。FMがいやで配信することによって、パーソナリティをイベントに呼ぶことができる。集客もできるのでは。(伊藤)

○パーソナリティが固定されてマンネリ化している。全国的な放送を取り入れることによって変化させる。そのためには番組編成も考えないといけない。(本田)

○放送はネット配信もしている所以他県の人にも聞ける。(宮本)

・市民パーソナリティも宇和島から全国へ行くこともできるミュージックバードの中にはコミュニティ放送の帯がある。(伊藤・田中)

○ラジオを聴いている人の数は分かるのか？(大久保)

・ラジオで聴いている数は分からない。ネット配信は調べることができる。(伊藤)

■その他

○UCATのホームページについて、カスペルスキーの設定方法を調べようとしたら載ってなかった。先ほどのみるプラスの操作方法についても詳しく載せてみたらいい。(本田)

・ホームページはリニューアルする予定があるので進めていく。(伊藤)

○以前、鬼北で放送していた「しめ縄飾り」の番組はよくできていた。地域に残すものは残して発信をしていく。例えば、地域の祭りのニュースを放送するが、練りについての番組を30分くらいの特番として作る、紅葉がきれいな場所をニュースの後に流すなど宣伝を絡めて番組制作をしてみてもどうか。(本田)

○忘年会などどこがいいかなどよく聞かれることがある。UCATの中で情報誌と絡めて番組で紹介などができたらいいと思う。(山内・石崎)

・情報発信ができてないのは感じている。情報収集からするととなると難しいところはあるのでどこかと連携してできたらいい。(伊藤)

・やるからには公平にやっていかないといけない。(新津)

・淡々とした番組として今後検討していきたい。(伊藤)

毎年元旦に宇和津彦神社と和霊神社から生中継をしている。今年度は中継をしないように考えている。(伊藤)

○今年度は辞めてみて、改めて中身のある番組を考えていけばいいのではないか。(本田)

以上